

# 1月の安心かわら版

## 1月の主な行事

1日 : 元日	17日 : 防災とボランティアの日
6日 : 出初め式	20日 : 大寒
7日 : 七草	21日 : 料理番組の日
11日 : 鏡開き	26日 : 文化財防火デー
11日 : 成人の日	27日 : 国旗制定記念日



## 今月のかわら版 : 「神社とお寺の参拝方法」

みなさん、初詣は「神社」と「お寺」どちらへ行きますか？  
今回は、知っているようで意外と知らない「神社」と「お寺」の参拝方法を詳しくご紹介します。正式な参拝方法を知ってから行けば、初詣が楽しくなりご利益も大幅にアップするかもしれません。



### ◆「神社」と「お寺」の参拝方法の違いとは？

毎年、初詣で、見よう見まねで参拝している方も多いのではないでしょうか？  
まずは神社の参拝方法からご紹介します。

#### 【神社の参拝方法】

- ①神社に入る時、鳥居の前で一礼してから中へ入る
- ②お参りの前に、手水舎（ちょうずや・てみずや）で心身の清浄のため、手と口をすすいで身を清める
- ③本殿に着いたら鈴を鳴らし、お賽銭を納め、二拝二拍手一拝で参拝する（神社によっては四拍手のところも）

※鈴は身の穢れを祓い清め、神様の発動を願うものなので、忘れずに鳴らしましょう。  
なお、鈴を鳴らすのとお賽銭を納める手順は、どちらが先でも大丈夫です。

神社とお寺の参拝は似ている点も多いのですが、お寺にはご法度のルールもあります。ぜひ覚えておいてください。

#### 【お寺の参拝方法】

- ①お寺に入る時、山門の前で一礼してから中に入る
  - ②手水舎で手と口をすすいで身を清める（方法は神社と同様）
  - ③鐘をつく
- ※一般参拝者が鐘をつくの禁じている所も多いようですが、許可されていたらぜひつけてください。ちなみに参拝後に鐘を鳴らすのは、「戻り鐘」と呼ばれ忌み嫌われている行為なので気を付けてください。
- ④ロウソクとお線香を上げる
- ※防災のためロウソクとお線香がないお寺もありますが、お線香の香りは仏様をもてなすという意味があるので、用意されている場合はぜひ献香して下さい。また、ロウソクもお線香も先の参拝者の灯明から火を受けて「業を受ける」と言われていて縁起が悪いのでNGです。
- ⑤本堂に入ったら、お賽銭を納め鰐口（わにぐち）を鳴らしてから礼拝する
- ※お賽銭を入れて鰐口を鳴らしたら、一礼をした後で胸の前で合掌しながら祈願をし、終わったら再度一礼をします。手を合わせることは、仏様と一体になることを意味しています。また、神社のように拍手は打たないので要注意です。

### ◆お賽銭にまつわる雑学

神社の場合は、神様へ日頃の感謝の気持ちをお伝えする表現としてお賽銭を納めるのに対し、お寺の場合は自分の欲を捨てる「お布施」という修業のひとつとして考えられています。その違いを知っていると、参拝の際の気持ちも変わってくるのではないのでしょうか。また、初詣へ行くと勢いよくお賽銭を投げる人がいますが、どちらにしても蕭々とした気持ちで丁寧に納めるのが礼儀なので気をつけたいですね。

以上

# 安全運転アドバイス

## 「よくある事故」の防止編

自動車事故の  
7割以上

自動車事故※1の7割以上を

追突事故

バック時の事故

出会い頭事故

右左折時の事故

が占めています。

※1 当社自動車保険において、自動車の運転に関して保険金をお支払いした事故。

### 事故防止のポイント

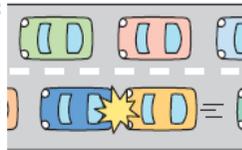
自動車事故の **21.0%**

自動車事故の **19.3%**

#### 追突事故を防止するために

主な原因: 脇見運転・動静不注視※2 等

- ・前の車の不意な減速・停止を予測しながら運転。
- ・低速で走行中であっても、しっかり集中。
- ・余裕を持った車間距離を確保。

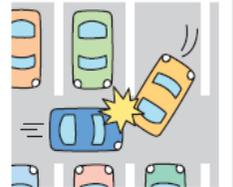


特に注意する場所  
直線道路・交差点

#### バック時の事故を防止するために

主な原因: 安全不確認 等

- ・ミラーやバックモニターだけに頼らず、目視で安全確認。
- ・見えないときは、いったん下車して安全確認。
- ・ゆっくりと歩くくらいの速度でバック。



特に注意する場所  
駐車場

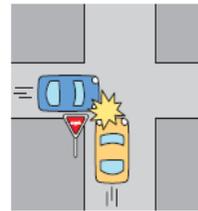
自動車事故の **18.0%**

自動車事故の **13.9%**

#### 出会い頭事故を防止するために

主な原因: 安全不確認・一時不停止 等

- ・一時停止の道路標識がある交差点では、完全に車輪を止めて、左右の安全を確認。
- ・住宅街では自転車・歩行者の飛び出しに注意。

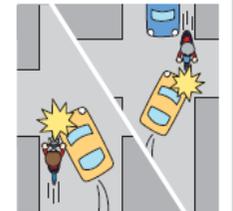


特に注意する場所  
信号がない交差点

#### 右左折時の事故を防止するために

主な原因: 安全不確認・動静不注視※2 等

- ・右折時は、対向車の陰に隠れた危険を予測。
- ・左折時は、車両の死角を意識し、左後方の巻き込みに注意。
- ・横断歩道上の歩行者・自転車にも十分に注意。



特に注意する場所  
市街地の交差点

※2 動静不注視とは、相手の存在を発見していたが、危険はないと判断し、その動静の注視を怠ったことをいいます。

あたり前のことを確実にすることが事故防止につながります。ぜひ安全運転をお願いします。